

非血縁者間末梢血幹細胞移植における HLA 不適合の影響に関する検討

1. 研究の対象

2007 年～2016 年までに本邦で非血縁者間骨髄移植もしくは末梢血幹細胞移植を施行された方になります。

2. 研究目的・方法

日本造血細胞移植データセンターのデータベースに登録された全国調査データを用いて後方視的に HLA 不適合の影響についての解析を行います。

研究期間：倫理審査委員会承認後 ～ 2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

日本造血細胞移植データセンターのデータベースに既にあるデータのみを用いての解析を行います。HLA 不適合の有無が急性 GVHD、慢性 GVHD ならびに非再発死亡、再発、全生存率などに与えるへの影響に関して検討します。

4. 外部への試料・情報の提供

日本造血細胞移植データセンターからデータの提供を受ける際には、電子的配信によって、個人情報等の記述等を削除して匿名化されたデータのみ提供を受けます。研究の結果が公表される場合にも個人のプライバシー保護に配慮します。

5. 研究組織

日本造血細胞移植学会

造血細胞移植登録一元管理委員会が設置するワーキンググループ (17-33)

大阪国際がんセンター 藤 重夫 (研究代表者)

京都大学医学部附属病院 諫田 淳也

名古屋第一赤十字病院 宮村 耕一

自治医科大学 神田 善伸

既存試料・情報の提供のみを行う機関

一般社団法人日本造血細胞移植データセンター

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

大阪国際がんセンター 血液内科 藤 重夫（研究代表者、研究責任者）

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

以上